

# サンルダム建設事業の検証に係る検討 報告書 (原案)

平成 24 年 9 月



国土交通省 北海道開発局

**【注】**

本報告書（原案）は、サンルダム建設事業の検証に係る検討にあたり、検討主体である北海道開発局が「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討している内容を示したものであり、後に国土交通本省に報告する「対応方針（案）」を作成する前の段階における北海道開発局としての（原案）に相当するものです。

国土交通本省は、北海道開発局から「対応方針（案）」とその決定理由等の報告を受けた後、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の意見を聴き、対応方針を決定することになります。



# サンルダム建設事業の検証に係る検討報告書(原案)

## — 目 次 —

1. 検討経緯	P. 1-1
1.1 検証に係る検討手順	P. 1-2
1.1.1 治水(洪水調節)	P. 1-2
1.1.2 新規利水	P. 1-3
1.1.3 流水の正常な機能の維持	P. 1-4
1.1.4 総合的な評価	P. 1-4
1.1.5 費用対効果分析	P. 1-4
1.2 情報公開、意見聴取等の進め方	P. 1-5
1.2.1 関係地方公共団体からなる検討の場	P. 1-5
1.2.2 パブリックコメント	P. 1-7
1.2.3 意見聴取	P. 1-7
1.2.4 事業評価	P. 1-7
1.2.5 情報公開	P. 1-7
2. 流域及び河川の概要について	P. 2-1
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況	P. 2-1
2.1.1 流域の概要	P. 2-1
2.1.2 地形	P. 2-2
2.1.3 地質	P. 2-2
2.1.4 気候	P. 2-5
2.1.5 流況	P. 2-6
2.1.6 土地利用	P. 2-11
2.1.7 人口と産業	P. 2-12
2.1.8 自然環境	P. 2-17
2.1.9 河川利用	P. 2-20
2.2 治水と利水の歴史	P. 2-21
2.2.1 治水事業の沿革	P. 2-21
2.2.2 過去の主な洪水	P. 2-23
2.2.3 利水事業の沿革	P. 2-32
2.2.4 過去の主な濁水	P. 2-33
2.2.5 河川環境の沿革	P. 2-35
2.3 天塩川の現状と課題	P. 2-36
2.3.1 治水上の課題	P. 2-36
2.3.2 利水の現状と課題	P. 2-39
2.3.3 河川環境の整備と保全に関する現状と課題	P. 2-39

2.4	現行の治水計画	P.	2-45
2.4.1	天塩川水系河川整備基本方針の概要	P.	2-45
2.4.2	天塩川水系河川整備計画の概要	P.	2-47
2.5	現行の利水計画	P.	2-49
2.5.1	水道用水計画の概要	P.	2-49
2.5.2	流水の正常な機能の維持の目標の概要	P.	2-49
3.	検証対象ダムの概要	P.	3-1
3.1	サンルダムの目的等	P.	3-1
3.1.1	サンルダムの目的	P.	3-1
3.1.2	名称及び位置	P.	3-3
3.1.3	規模及び形式	P.	3-3
3.1.4	貯留量	P.	3-5
3.1.5	取水量	P.	3-5
3.1.6	建設に要する費用	P.	3-5
3.1.7	工期	P.	3-5
3.2	サンルダム建設事業の経緯	P.	3-6
3.2.1	実施計画調査着手	P.	3-6
3.2.2	建設事業着手	P.	3-6
3.2.3	基本計画告示	P.	3-6
3.2.4	用地補償基準	P.	3-6
3.2.5	建設工事の着手	P.	3-7
3.2.6	環境に関する手続き	P.	3-7
3.2.7	これまでの環境保全への取り組み	P.	3-7
3.3	サンルダム建設事業の現在の進捗状況	P.	3-9
3.3.1	予算執行状況	P.	3-9
3.3.2	用地取得	P.	3-9
3.3.3	家屋移転	P.	3-9
3.3.4	付替道路整備	P.	3-9
3.3.5	ダム本体関連工事	P.	3-9
4.	サンルダム検証に係る検討の内容	P.	4-1
4.1	検証対象ダム事業等の点検	P.	4-1
4.1.1	総事業費及び工期	P.	4-1
4.1.2	堆砂計画	P.	4-4
4.1.3	計画の前提となっているデータ	P.	4-7
4.2	洪水調節の観点からの検討	P.	4-8
4.2.1	複数の治水対策案(サンルダムを含む案)について	P.	4-8
4.2.2	複数の治水対策案(サンルダムを含まない案)について	P.	4-10
4.2.3	複数の治水対策案の立案	P.	4-36

4.2.4 概略評価	P. 4-103
4.2.5 評価軸ごとの評価	P. 4-111
4.3 新規利水の観点からの検討	P. 4-142
4.3.1 ダム事業参画継続の意志・必要な開発水量の確認	P. 4-142
4.3.2 水需要の点検・確認	P. 4-143
4.3.3 複数の新規利水対策案の立案等	P. 4-152
4.3.4 評価軸ごとの評価	P. 4-186
4.4 流水の正常な機能の維持の観点からの検討	P. 4-198
4.4.1 複数の流水の正常な機能の維持対策案の立案等	P. 4-198
4.4.2 評価軸ごとの評価	P. 4-227
4.5 目的別の総合評価	P. 4-239
4.5.1 目的別の総合評価(洪水調節)	P. 4-239
4.5.2 目的別の総合評価(新規利水)	P. 4-244
4.5.3 目的別の総合評価(流水の正常な機能の維持)	P. 4-249
4.6 検証ダムの総合的な評価	P. 4-254
4.6.1 検証ダムの総合的な評価の結果	P. 4-254
5. 費用対効果の検討	P. 5-1
5.1 洪水調節に関する便益の検討	P. 5-1
5.2 流水の正常な機能の維持に関する便益の検討	P. 5-5
5.3 サンプルダムの費用対効果分析	P. 5-6
6. 関係者の意見等	P. 6-1
6.1 関係地方公共団体からなる検討の場	P. 6-1
6.2 パブリックコメント	P. 6-17
6.3 意見聴取	P. 6-33
6.3.1 学識経験を有する者からの意見聴取	P. 6-33
6.3.2 関係住民からの意見聴取	P. 6-48
6.3.3 関係地方公共団体の長からの意見聴取	P. 6-65
6.3.4 関係利水者からの意見聴取	P. 6-65
6.3.5 事業審議委員会からの意見聴取	P. 6-66
7. 対応方針(原案)	P. 7-1
巻末資料 「費用便益比算定」参考資料	巻末-1